



管理対象クラスター Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

目次

管理対象クラスター	1
Astra API (ACC) で管理されるクラスターエンドポイント	1
新しいマネージドクラスターを作成します	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	3
応答	15
応答	16
応答	16
応答	17
エラー	17
用語の意味	18
管理対象のクラスターをすべて表示します	19
パラメータ	19
応答	20
応答	21
応答	22
応答	22
エラー	23
用語の意味	23
管理対象クラスターを取得する	36
パラメータ	36
応答	36
応答	48
応答	49
応答	49
エラー	50
用語の意味	50
管理対象クラスターを変更する	51
パラメータ	51
要求の本文	52
応答	63
応答	63
応答	64
応答	65
応答	65
エラー	66
用語の意味	66
管理対象クラスターを削除	67

パラメータ	68
応答	68
応答	68
応答	68
応答	69
エラー	70
用語の意味	70

管理対象クラスタ

Astra API（ACC）で管理されるクラスタエンドポイント

Managed Cluster APIは、管理対象のKubernetesクラスターを表します。

新しいマネージドクラスタを作成します

POST /accounts/{account_id}/topology/v1/managedClusters

作成される Managed Cluster API リソースの希望値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}

要求の本文

作成される Managed Cluster API リソースの希望値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-managedCluster」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
tridentManagedStateDesired	string	False	Tridentの目的の管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「managed」 - このクラスター上でTridentを管理する 「unmanaged」 - このクラスター上でTridentを管理しない
defaultStorageClass	string	False	Kubernetesで設定されているデフォルトのストレージクラスに対応するストレージクラスIDを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠します。含まれていない場合は、まだ検出されていません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-managedCluster",
  "version": "1.3",
```

```

    "id": "b82af145-054d-5f0d-bf47-3d22457a8b99",
    "defaultStorageClass": "e280ff62-be35-4f31-a31b-a210a1ad1b33",
    "tridentManagedStateDesired": "managed"
  }

```

応答

Status: 201, Returns the newly created managedCluster resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-managedCluster」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1" "1.2" "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	クラスター名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	クラスターの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターの検出が予定されています • 「discovering」 - クラスターの検出処理中です • 「provisioning」 - クラスターのプロビジョニング処理中です • 「running」 - クラスターは正常に動作しています • 「failed」 - クラスターが永続的な障害状態にあります • 「削除済み」 - クラスターには現在アクセスできません • 「不明」 - クラスターの状態を判断できません
restoreTargetSupported	string	False	管理対象クラスターがアプリケーションデータ管理操作の_ターゲット_となる能力を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスターは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格です。 • 「false」 - クラスターは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格ではありません_。

Name	を入力します	必須	説明
snapshotSupported	string	False	管理対象クラスタがアプリケーションデータ管理のバックアップのような操作を実行できるかどうかを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理操作を実行する資格があります。 • 「false」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理を実行する資格がありません。
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが「実行中」状態に移行できない理由、「実行中」状態中に問題が発生した場合、または「失敗」状態や「削除済み」状態に移行した理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedState	string	True	クラスターの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターは検出または追加される予定です • 「ineligible」 - クラスターは「running」状態であり、管理下になく、管理の対象外です。この不適格性の理由は、unreadyキーの値に示されています。 • 「管理対象外」 - クラスターは「実行中」または「障害発生」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「管理中」 - クラスターは「実行中」状態であり、管理処理中です • 「managed」 - クラスターは「running」、「failed」、または「removed」状態であり、管理下にあります

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	クラスターの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「full」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートします 「partial」 - クラスターには、スナップショットをサポートしないストレージクラスのみが存在します "atRisk" - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていません
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
managedStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedTimestamp	string	True	クラスターが管理下に置かれた日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 日付時刻スキーマに準拠 このキーは、クラスターのmanagedStateが「managed」の場合にのみ返されます。
tridentVersion	string	False	クラスターにインストールされているTridentのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
acpVersion	string	False	クラスターにインストールされているAstra Control Provisionerのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
tridentManagedState	string	False	このクラスター上の Trident の管理状態を示す列挙値のセットの 1 つを含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「managed」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されます • 「管理されていない」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されていません

Name	を入力します	必須	説明
tridentManagedStateDesired	string	False	Tridentの目的の管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「managed」 - このクラスター上でTridentを管理する 「unmanaged」 - このクラスター上でTridentを管理しない
tridentManagedStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	「state」が「managed」または「unmanaged」に移行した理由に関する詳細情報をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。+ 詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 最小アイテム数：0
tridentManagedStateAllowed	array[string]	False	特定のtridentManagedStateで要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： "managed" : "managed" "unmanaged" : "管理対象外"

Name	を入力します	必須	説明
inUse	string	True	クラスターに管理対象アプリケーションが存在するかどうか、つまり削除できないかどうかを示す値を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「false」 - クラスターは管理されていないか、管理されているが、関連付けられている管理対象アプリケーションがない • 「true」 - クラスターは管理されており、管理対象アプリケーションが関連付けられています
accHost	string	False	このクラスターが現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしていることを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - このクラスターは、現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしています。

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	True	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「gke」 - Google Kubernetes Engine 上でホストされる Kubernetes 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service 上でホストされている Kubernetes 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service でホストされる Kubernetes 「rke」 - クラスターのタイプは Rancher です 「tanzu」 - クラスターのタイプは Tanzu Kubernetes Grid です "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift 「anthos」 - クラスターのタイプはGKE Anthosです 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです
clusterVersion	string	True	クラスター環境のセマンティックバージョンing表現を含むJSON文字列。Kubernetesクラスターの場合、これはKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：31

Name	を入力します	必須	説明
clusterVersionString	string	True	クラスター環境の拡張バージョン情報を示す値を含むJSON文字列。Kubernetesクラスターの場合、これは完全なKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：31
clusterCreationTimestamp	string	False	クラスターが最初に作成された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
ネームスペース	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスター内の名前空間を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253
defaultStorageClass	string	False	Kubernetesで設定されているデフォルトのストレージクラスに対応するストレージクラスIDを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠します。含まれていない場合は、まだ検出されていません。
cloudID	string	True	クラスターが実行されているクラウドのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
credentialID	string	False	クラスタのkubeconfigファイルを含むクレデンシャルのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
場所	string	False	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターのクラウド固有の場所を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
isMultizonal	string	True	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターが2つ以上の可用性ゾーンにまたがっているかどうかを示します。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスターが2つ以上のアベイラビリティゾーンにまたがっている • 「false」 - クラスターは単一のアベイラビリティゾーン内に完全に配置されています
privateRouteID	string	False	プライベートクラスターのlocationIDを含むJSON文字列。 • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
apiServiceID	string	False	Kubernetes (k8s) APIサービスオブジェクトから取得したUUIDを含むJSON文字列。クラスターを一意に識別するために使用されます。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-managedCluster",
  "version": "1.3",
  "id": "b82af145-054d-5f0d-bf47-3d22457a8b99",
  "name": "GKE-22",
  "state": "running",
  "stateUnready": [],
  "managedState": "managed",
  "managedStateUnready": [],
  "managedTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
  "protectionState": "full",
  "protectionStateDetails": [],
  "tridentVersion": "23.10.0",
  "acpVersion": "23.10.0",
  "tridentManagedState": "managed",
  "tridentManagedStateDesired": "managed",
  "tridentManagedStateDetails": [],
  "inUse": "false",
  "clusterType": "kubernetes",
```

```

"clusterVersion": "1.91.1",
"clusterVersionString": "1.19.1",
"clusterCreationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
"namespaces": [
  "kube-system",
  "kube-public",
  "my-app-1"
],
"defaultStorageClass": "e280ff62-be35-4f31-a31b-a210a1ad1b33",
"cloudID": "548bdc1f-f00e-4a23-a062-83265d224d46",
"credentialID": "055e365a-2215-40de-aecb-a4070a7e6f1e",
"location": "europe-west4",
"isMultizonal": "false",
"apiServiceID": "6bf33af2-872a-4553-a891-26b510c3edbe",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
```

```
"title": "JSON resource conflict",
"detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
"status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

管理対象のクラスタをすべて表示します

GET /accounts/{account_id}/topology/v1/managedClusters

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 : "include=id"、"include=id,name" OpenAPI の例: "id" • 例: id、name、managedState

Name	を入力します	入力	必須	説明
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例: "limit=2" OpenAPI の例: "2"
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです: • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 : "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 : 「field eq 'value'」

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "managedCluster_1.3_get_response_body"、配列[]]	True	

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-managedClusters",
  "version": "1.3",
  "items": [
    [
      "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
      "GKE-21",
      "managed"
    ],
    [
      "04dc80fa-d1d8-4850-a49f-3b70d0ec1369",
      "GKE-22",
      "unmanaged"
    ]
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

managedCluster_1.3_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-managedCluster」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"

Name	を入力します	必須	説明
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	クラスター名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。
状態	string	True	クラスターの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターの検出が予定されています • 「discovering」 - クラスターの検出処理中です • 「provisioning」 - クラスターのプロビジョニング処理中です • 「running」 - クラスターは正常に動作しています • 「failed」 - クラスターが永続的な障害状態にあります • 「削除済み」 - クラスターには現在アクセスできません • 「不明」 - クラスターの状態を判断できません

Name	を入力します	必須	説明
restoreTargetSupported	string	False	管理対象クラスタがアプリケーションデータ管理操作の_ターゲット_となる能力を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格です。 • 「false」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格ではありません_。
snapshotSupported	string	False	管理対象クラスタがアプリケーションデータ管理のバックアップのような操作を実行できるかどうかを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理操作を実行する資格があります。 • 「false」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理を実行する資格が_ありません_。
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが「実行中」状態に移行できない理由、「実行中」状態中に問題が発生した場合、または「失敗」状態や「削除済み」状態に移行した理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedState	string	True	クラスターの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターは検出または追加される予定です • 「ineligible」 - クラスタは「running」状態であり、管理下になく、管理の対象外です。この不適格性の理由は、unreadyキーの値に示されています。 • 「管理対象外」 - クラスターは「実行中」または「障害発生」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「管理中」 - クラスタは「実行中」状態であり、管理処理中です • 「managed」 - クラスタは「running」、「failed」、または「removed」状態であり、管理下にあり

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	クラスターの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「full」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートします • 「partial」 - クラスターには、スナップショットをサポートしないストレージクラスのみが存在します • "atRisk" - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていません
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
managedStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedTimestamp	string	True	クラスターが管理下に置かれた日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 日付時刻スキーマに準拠 このキーは、クラスターのmanagedStateが「managed」の場合にのみ返されます。
tridentVersion	string	False	クラスターにインストールされているTridentのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
acpVersion	string	False	クラスターにインストールされているAstra Control Provisionerのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
tridentManagedState	string	False	このクラスター上の Trident の管理状態を示す列挙値のセットの 1 つを含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「managed」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されます • 「管理されていない」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されていません

Name	を入力します	必須	説明
tridentManagedStateDesired	string	False	Tridentの目的の管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「managed」 - このクラスター上でTridentを管理する 「unmanaged」 - このクラスター上でTridentを管理しない
tridentManagedStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	「state」が「managed」または「unmanaged」に移行した理由に関する詳細情報をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。+ 詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 最小アイテム数：0
tridentManagedStateAllowed	array[string]	False	特定のtridentManagedStateで要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： "managed" : "managed" "unmanaged" : "管理対象外"

Name	を入力します	必須	説明
inUse	string	True	クラスターに管理対象アプリケーションが存在するかどうか、つまり削除できないかどうかを示す値を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「false」 - クラスターは管理されていないか、管理されているが、関連付けられている管理対象アプリケーションがない • 「true」 - クラスターは管理されており、管理対象アプリケーションが関連付けられています
accHost	string	False	このクラスターが現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしていることを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - このクラスターは、現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしています。

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	True	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「gke」 - Google Kubernetes Engine 上でホストされる Kubernetes 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service 上でホストされている Kubernetes 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service でホストされる Kubernetes 「rke」 - クラスターのタイプは Rancher です 「tanzu」 - クラスターのタイプは Tanzu Kubernetes Grid です "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift 「anthos」 - クラスターのタイプはGKE Anthosです 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです
clusterVersion	string	True	クラスター環境のセマンティックバージョンing表現を含むJSON文字列。Kubernetesクラスターの場合、これはKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：31

Name	を入力します	必須	説明
clusterVersionString	string	True	クラスタ環境の拡張バージョン情報を示す値を含むJSON文字列。Kubernetesクラスタの場合、これは完全なKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：31
clusterCreationTimestamp	string	False	クラスターが最初に作成された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
ネームスペース	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスター内の名前空間を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253
defaultStorageClass	string	False	Kubernetesで設定されているデフォルトのストレージクラスに対応するストレージクラスIDを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠します。含まれていない場合は、まだ検出されていません。
cloudID	string	True	クラスターが実行されているクラウドのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
credentialID	string	False	クラスタのkubeconfigファイルを含むクレデンシャルのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
場所	string	False	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターのクラウド固有の場所を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
isMultizonal	string	True	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターが2つ以上の可用性ゾーンにまたがっているかどうかを示します。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスターが2つ以上のアベイラビリティゾーンにまたがっている • 「false」 - クラスターは単一のアベイラビリティゾーン内に完全に配置されています
privateRouteID	string	False	プライベートクラスターのlocationIDを含むJSON文字列。 • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
apiServiceID	string	False	Kubernetes (k8s) APIサービスオブジェクトから取得したUUIDを含むJSON文字列。クラスターを一意に識別するために使用されます。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

管理対象クラスターを取得する

GET /accounts/{account_id}/topology/v1/managedClusters/{managedCluster_id}

JSONレスポンスボディに格納されているマネージドクラスターAPIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	リストするmanagedClusterコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored Managed Cluster API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-managedCluster」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	クラスター名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。
状態	string	True	クラスターの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターの検出が予定されています • 「discovering」 - クラスターの検出処理中です • 「provisioning」 - クラスターのプロビジョニング処理中です • 「running」 - クラスターは正常に動作しています • 「failed」 - クラスターが永続的な障害状態にあります • 「削除済み」 - クラスターには現在アクセスできません • 「不明」 - クラスターの状態を判断できません

Name	を入力します	必須	説明
restoreTargetSupported	string	False	管理対象クラスタがアプリケーションデータ管理操作の_ターゲット_となる能力を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格です。 • 「false」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格ではありません_。
snapshotSupported	string	False	管理対象クラスタがアプリケーションデータ管理のバックアップのような操作を実行できるかどうかを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理操作を実行する資格があります。 • 「false」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理を実行する資格がありません_。
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが「実行中」状態に移行できない理由、「実行中」状態中に問題が発生した場合、または「失敗」状態や「削除済み」状態に移行した理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedState	string	True	クラスターの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターは検出または追加される予定です • 「ineligible」 - クラスターは「running」状態であり、管理下になく、管理の対象外です。この不適格性の理由は、unreadyキーの値に示されています。 • 「管理対象外」 - クラスターは「実行中」または「障害発生」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「管理中」 - クラスターは「実行中」状態であり、管理処理中です • 「managed」 - クラスターは「running」、「failed」、または「removed」状態であり、管理下にあります

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	クラスターの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「full」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートします 「partial」 - クラスターには、スナップショットをサポートしないストレージクラスのみが存在します "atRisk" - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていません
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
managedStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedTimestamp	string	True	クラスターが管理下に置かれた日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 日付時刻スキーマに準拠 このキーは、クラスターのmanagedStateが「managed」の場合にのみ返されます。
tridentVersion	string	False	クラスターにインストールされているTridentのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
acpVersion	string	False	クラスターにインストールされているAstra Control Provisionerのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
tridentManagedState	string	False	このクラスター上の Trident の管理状態を示す列挙値のセットの 1 つを含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「managed」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されます • 「管理されていない」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されていません

Name	を入力します	必須	説明
tridentManagedStateDesired	string	False	Tridentの目的の管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「managed」 - このクラスター上でTridentを管理する 「unmanaged」 - このクラスター上でTridentを管理しない
tridentManagedStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	「state」が「managed」または「unmanaged」に移行した理由に関する詳細情報をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。+ 詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 最小アイテム数：0
tridentManagedStateAllowed	array[string]	False	特定のtridentManagedStateで要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： "managed" : "managed" "unmanaged" : "管理対象外"

Name	を入力します	必須	説明
inUse	string	True	クラスターに管理対象アプリケーションが存在するかどうか、つまり削除できないかどうかを示す値を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「false」 - クラスターは管理されていないか、管理されているが、関連付けられている管理対象アプリケーションがない • 「true」 - クラスターは管理されており、管理対象アプリケーションが関連付けられています
accHost	string	False	このクラスターが現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしていることを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - このクラスターは、現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしています。

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	True	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「gke」 - Google Kubernetes Engine 上でホストされる Kubernetes 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service 上でホストされている Kubernetes 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service でホストされる Kubernetes 「rke」 - クラスタのタイプは Rancher です 「tanzu」 - クラスタのタイプは Tanzu Kubernetes Grid です "openshift" - クラスタのタイプはOpenShift 「anthos」 - クラスタのタイプはGKE Anthosです 「kubernetes」 - クラスタは汎用Kubernetesです
clusterVersion	string	True	クラスタ環境のセマンティックバージョンing表現を含むJSON文字列。Kubernetesクラスタの場合、これはKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：31

Name	を入力します	必須	説明
clusterVersionString	string	True	クラスター環境の拡張バージョン情報を示す値を含むJSON文字列。Kubernetesクラスターの場合、これは完全なKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：31
clusterCreationTimestamp	string	False	クラスターが最初に作成された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
ネームスペース	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスター内の名前空間を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253
defaultStorageClass	string	False	Kubernetesで設定されているデフォルトのストレージクラスに対応するストレージクラスIDを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠します。含まれていない場合は、まだ検出されていません。
cloudID	string	True	クラスターが実行されているクラウドのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
credentialID	string	False	クラスタのkubeconfigファイルを含むクレデンシャルのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
場所	string	False	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターのクラウド固有の場所を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
isMultizonal	string	True	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターが2つ以上の可用性ゾーンにまたがっているかどうかを示します。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスターが2つ以上のアベイラビリティゾーンにまたがっている • 「false」 - クラスターは単一のアベイラビリティゾーン内に完全に配置されています
privateRouteID	string	False	プライベートクラスターのlocationIDを含むJSON文字列。 • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
apiServiceID	string	False	Kubernetes (k8s) APIサービスオブジェクトから取得したUUIDを含むJSON文字列。クラスターを一意に識別するために使用されます。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-managedCluster",
  "version": "1.3",
  "id": "b82af145-054d-5f0d-bf47-3d22457a8b99",
  "name": "GKE-22",
  "state": "running",
  "stateUnready": [],
  "managedState": "managed",
  "managedStateUnready": [],
  "managedTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
  "protectionState": "full",
  "protectionStateDetails": [],
  "tridentVersion": "23.10.0",
  "acpVersion": "23.10.0",
  "tridentManagedState": "managed",
  "tridentManagedStateDesired": "managed",
  "tridentManagedStateDetails": [],
  "inUse": "true",
  "clusterType": "kubernetes",
```

```

"clusterVersion": "1.91.1",
"clusterVersionString": "1.19.1",
"clusterCreationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
"namespaces": [
  "kube-system",
  "kube-public",
  "my-app-1"
],
"defaultStorageClass": "e280ff62-be35-4f31-a31b-a210a1ad1b33",
"cloudID": "548bdc1f-f00e-4a23-a062-83265d224d46",
"credentialID": "055e365a-2215-40de-aecb-a4070a7e6f1e",
"location": "europe-west4",
"isMultizonal": "false",
"apiServiceID": "6bf33af2-872a-4553-a891-26b510c3edbe",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

```
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

管理対象クラスターを変更する

PUT /accounts/{account_id}/topology/v1/managedClusters/{managedCluster_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- defaultStorageClassが変更されると、Kubernetesのデフォルトのストレージクラスが更新されます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	リストするmanagedClusterコレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- defaultStorageClassが変更されると、Kubernetesのデフォルトのストレージクラスが更新されます。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-managedCluster」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	False	クラスター名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	クラスターの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターの検出が予定されています • 「discovering」 - クラスターの検出処理中です • 「provisioning」 - クラスターのプロビジョニング処理中です • 「running」 - クラスターは正常に動作しています • 「failed」 - クラスターが永続的な障害状態にあります • 「削除済み」 - クラスターには現在アクセスできません • 「不明」 - クラスターの状態を判断できません
restoreTargetSupported	string	False	管理対象クラスターがアプリケーションデータ管理操作の_ターゲット_となる能力を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスターは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格です。 • 「false」 - クラスターは、アプリケーションデータ管理処理の対象として適格ではありません_。

Name	を入力します	必須	説明
snapshotSupported	string	False	管理対象クラスタがアプリケーションデータ管理のバックアップのような操作を実行できるかどうかを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理操作を実行する資格があります。 • 「false」 - クラスタは、アプリケーションデータ管理処理を実行する資格がありません。
stateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが「実行中」状態に移行できない理由、「実行中」状態中に問題が発生した場合、または「失敗」状態や「削除済み」状態に移行した理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedState	string	False	クラスターの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - クラスターは検出または追加される予定です • 「ineligible」 - クラスターは「running」状態であり、管理下になく、管理の対象外です。この不適格性の理由は、unreadyキーの値に示されています。 • 「管理対象外」 - クラスターは「実行中」または「障害発生」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「管理中」 - クラスターは「実行中」状態であり、管理処理中です • 「managed」 - クラスターは「running」、「failed」、または「removed」状態であり、管理下にあります

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	False	クラスターの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「full」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートします 「partial」 - クラスターには、スナップショットをサポートしないストレージクラスのみが存在します "atRisk" - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていません
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
managedStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスターが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedTimestamp	string	False	クラスターが管理下に置かれた日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 日付時刻スキーマに準拠 このキーは、クラスターのmanagedStateが「managed」の場合にのみ返されます。
tridentVersion	string	False	クラスターにインストールされているTridentのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
acpVersion	string	False	クラスターにインストールされているAstra Control Provisionerのバージョンを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ソフトウェアバージョンスキーマに準拠
tridentManagedState	string	False	このクラスター上の Trident の管理状態を示す列挙値のセットの 1 つを含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： 「managed」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されます 「管理されていない」 - クラスター上の Trident インスタンスは Astra によって管理されていません

Name	を入力します	必須	説明
tridentManagedStateDesired	string	False	Tridentの目的の管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「managed」 - このクラスター上でTridentを管理する 「unmanaged」 - このクラスター上でTridentを管理しない
tridentManagedStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	「state」が「managed」または「unmanaged」に移行した理由に関する詳細情報をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。+ 詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 最小アイテム数：0
tridentManagedStateAllowed	array[string]	False	特定のtridentManagedStateで要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： "managed" : "managed" "unmanaged" : "管理対象外"

Name	を入力します	必須	説明
inUse	string	False	クラスターに管理対象アプリケーションが存在するかどうか、つまり削除できないかどうかを示す値を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 「false」 - クラスターは管理されていないか、管理されているが、関連付けられている管理対象アプリケーションがない • 「true」 - クラスターは管理されており、管理対象アプリケーションが関連付けられています
accHost	string	False	このクラスターが現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしていることを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - このクラスターは、現在アクセスされているAstra Control Centerのインスタンスをホストしています。

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「gke」 - Google Kubernetes Engine 上でホストされる Kubernetes 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service 上でホストされている Kubernetes 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service でホストされる Kubernetes 「rke」 - クラスターのタイプは Rancher です 「tanzu」 - クラスターのタイプは Tanzu Kubernetes Grid です "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift 「anthos」 - クラスターのタイプはGKE Anthosです 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです
clusterVersion	string	False	クラスター環境のセマンティックバージョンing表現を含むJSON文字列。Kubernetesクラスターの場合、これはKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：31

Name	を入力します	必須	説明
clusterVersionString	string	False	クラスター環境の拡張バージョン情報を示す値を含むJSON文字列。Kubernetesクラスターの場合、これは完全なKubernetesバージョンです。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：31
clusterCreationTimestamp	string	False	クラスターが最初に作成された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
ネームスペース	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、クラスター内の名前空間を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253
defaultStorageClass	string	False	Kubernetesで設定されているデフォルトのストレージクラスに対応するストレージクラスIDを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠します。含まれていない場合は、まだ検出されていません。
cloudID	string	False	クラスターが実行されているクラウドのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
credentialID	string	False	クラスタのkubeconfigファイルを含むクレデンシャルのIDを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
場所	string	False	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターのクラウド固有の場所を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
isMultizonal	string	False	クラスターが実行されているクラウドから提供される値を含むJSON文字列。この値は、クラスターが2つ以上の可用性ゾーンにまたがっているかどうかを示します。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - クラスターが2つ以上のアベイラビリティゾーンにまたがっている • 「false」 - クラスターは単一のアベイラビリティゾーン内に完全に配置されています
privateRouteID	string	False	プライベートクラスターのlocationIDを含むJSON文字列。 • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
apiServiceID	string	False	Kubernetes (k8s) APIサービスオブジェクトから取得したUUIDを含むJSON文字列。クラスターを一意に識別するために使用されます。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-managedCluster",
  "version": "1.3",
  "defaultStorageClass": "0b146cda-7fc1-4f32-804c-8130a38a7e1c"
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the managedCluster resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
}
```

```
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

管理対象クラスタを削除

DELETE /accounts/{account_id}/topology/v1/managedClusters/{managedCluster_id}

指定されたマネージド クラスタ API リソースを削除します。

副作用

- 内部データ構造がクリーンアップされます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	リストするmanagedClusterコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the managedCluster resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。